

2025 年度自転車等規格標準化事業
2025 年 ISO/TC 149 国際会議 実施・参加報告

一般財団法人自転車産業振興協会
技 術 研 究 所

この会議は競輪の補助を受けています



目次

1. 会議概要.....	3
2. 開催会議と参加人数.....	3
3. 各会議概要.....	4
3.1 ISO/TC 149/SC 1/WG 13 国際会議.....	4
3.2 ISO/TC 149/SC 1/WG 16 国際会議.....	6
3.3 ISO/TC 149/SC 1/WG 18 国際会議.....	8
3.4 ISO/TC 149/SC 1 総会.....	8
3.5 ISO/TC 149 総会.....	9
4. ソーシャルイベント.....	9
5. 今回の国際会議開催における成果の波及効果.....	9

1. 会議概要

開催期間：2025年10月14日（火）～10月17日（金）

開催場所：東京・有明セントラルタワーホール&カンファレンス ROOM1

開催形態：対面形式

ISO/TC 149/SC 1 国際幹事、会議ホスト：一般財団法人 自転車産業振興協会

2. 開催会議と参加人数

日時	会議	コンビナー（招集者）／ 議長・委員会マネージャー	参加国	参加人数 （日本からの参加者数）
2025年10月14日（火） 13：00～16：00	ISO/TC 149/SC 1/ WG 18 国際会議	コンビナー： 狩山 修 氏（日本）	5（ドイツ、フランス、英国、日本、ポルトガル）	19（8）
2025年10月15日（水） 9：00～16：00	ISO/TC 149/SC 1/ WG 13 国際会議	コンビナー： Justin Bogler 氏 （米国、Stefan Berggren 氏の代理）	9（中国、ドイツ、フランス、英国、日本、オランダ、ポルトガル、オーストラリア、米国）	37（14）
2025年10月16日（木） 9：00～12：00	ISO/TC 149/SC 1/ WG 16 国際会議	コンビナー： Gilles Lanagte 氏 （フランス）	9（中国、ドイツ、フランス、英国、日本、オランダ、ポルトガル、オーストラリア、米国）	28（9）
2025年10月17日（金） 9：00～12：00	ISO/TC 149/ SC 1 総会	議長：Zigor Garate 氏（フランス） 委員会マネージャー：杉谷一朗（日本、当会技術研究所）	9（中国、ドイツ、フランス、英国、日本、オランダ、ポルトガル、オーストラリア、米国）	35（14）
2025年10月17日（金） 13：00～16：00	ISO/TC 149 総会	議長：Frank Prüwer 氏（ドイツ） 委員会マネージャー：Michael Gäbel 氏（ドイツ）	9（中国、ドイツ、フランス、英国、日本、オランダ、ポルトガル、オーストラリア、米国）	35（14）

3. 各会議概要

3.1 ISO/TC 149/SC 1/WG 13 国際会議

ISO/TC 149/SC 1/WG 13 では ISO 4210-1～9:2023 (Cycles -Safety requirements for bicycles) 及び ISO 8098:2023 (Cycles - Safety requirements for bicycles for young children) の次回改訂に向けた準備を行っており、現在 PWI 段階 (予備段階) で、議論に時間を要する案件や早急に議論が必要な案件について各国にコメントを出すよう呼びかけ、議論を進めている。

今回の WG13 会議の議題は、

- ① 欧州 GPSR に関するプレゼンテーション
- ② 前回会議での宿題項目の進捗状況確認
- ③ 今回の会議までに送付されたコメントや提案の検討
- ④ ISO 4210 の適用範囲に関する議論

の 4 項目である。これらの項目の議論内容を以下にまとめる。なお、今回の会議ではコンビナーの Stefan Berggren 氏 (米国) が都合により会議に参加できない状況であったため、代理コンビナーを Justin Bogler 氏 (米国) がつとめ、前回改訂時のプロジェクトリーダーである Peter Eland 氏 (英国) と WG13 事務局の杉谷が中心となり会議進行を行った。

① 欧州 GPSR に関するプレゼンテーション

ISO 4210-1～9 及び ISO 8098 はウィーン協定のもとで規格の開発及び改訂が行われている。ウィーン協定とは、ISO と CEN (欧州標準化委員会) で重複作業を避け、ISO 規格を EN ISO 規格として発行する協定であることから、ISO 4210-1～9 及び ISO 8098 は、欧州規則、その中でも GPSR (General Product Safety Regulation、一般製品安全規則) に密接に関連することになる。欧州では、製造者は GPSR に規定された一般安全要求事項を満たす設計や製造を行うことが必要であり、製品のリスク分析を実施した上で、技術文書を作成することが求められる。「適合の推定を与える技術仕様」として GPSR の整合規格が公表されれば、製造業者の技術文書作成が容易になるため、ISO 4210-1～9 及び ISO 8098 についても GPSR の整合規格化を念頭に置いて規格改訂を行うことが求められている。一方で、欧州以外のメンバーにとっては GPSR の内容はなじみがなく、今回オランダ代表に GPSR の概要などをまとめたプレゼンテーションを依頼した。

プレゼン後の質疑応答では、WG13 にて GPSR 整合化をベースにした規格開発を行うことを決議したほうが良いのではないかと、ISO 規格と GPSR の対比表である附属書 ZA を ISO リードで作成すべきではないかと、という質問があったが、GPSR との整合化については ISO 側の案件ではなく、CEN/TC 333 (自転車) で HAS コンサルタント (GPSR 整合確認を行う機関) を交えた検討を行い、コメントがあれば WG13 に提出してもらうこととした。また附属書 ZA についても ISO 側で作成するものではなく、EN ISO 規格として発行される際に CEN/TC 333 で作成・添付するものであり、内容の検討については ISO 側にしてもらっても構わない、とした。

② 前回会議での宿題項目の進捗状況確認

2024年9月にポルトガルで対面方式により開催されたWG13国際会議で、各国から提出されたコメントのうち、宿題事項となっていたものについての進捗状況を確認した。ほとんどが未着手であったが、一部については今回の会議に向けたコメントとしてフィードバックがあったため、③ 今回の会議までに送付されたコメントや提案の検討 にて議論を行うことになった。

③ 今回の会議までに送付されたコメントや提案の検討

今回の会議ではコンビナーのStefan Berggren氏が不在であることから、会議前にObservationのコンビナーチーム案（コンビナーチームはStefan Berggren氏、Justin Bogler氏、Peter Eland氏、杉谷の4名で構成）を作成、回付した。今回の会議ではコンビナーチーム案に意見を求める形で議論を進めた。

会議における主な議論や結論のうち、今後のISO規格開発動向や日本国内にも影響を及ぼす可能性のあるものを、以下にまとめる。

- ・最大許容総質量（乗員体重、荷物の積載、トレーラーなど）を考慮した新試験条件や要求事項の検討について、フランス、オランダ及びドイツが中心となり検討を進める（他の国参加も可能）。
- ・これまでISO 4210とEN 17406（自転車の使用分類）の融合を検討してきたが、欧州エキスパートから別個の規格として発行すべきであると提案があり、その方向性で規格開発を行うこととする。
- ・操舵装置の試験で使用するダミーハンドルバーの仕様についての明確化の検討を行う。
- ・ブレーキ耐熱性試験について、試験を2回繰り返す必要があるか確認を行う。（2014年版では15分のサイクルを2回繰り返すことが規定されていたが、2023年版では1回となった。これはドイツ提案をベースに検討を進めたことが原因）
- ・ISO 4210-2及び-3に規定されている前泥よけやISO 8098のチェーン／ベルト保護装置 の試験方法や要求事項について、規定内容の不明確な点や不備により、各国試験機関や標準化団体に多くの問い合わせが寄せられている。迅速に対応すべき案件であるため、次回改訂を待たず追補版発行を視野に入れ内容の見直しを行う。

今回の会議では会議終了を1時間延長したが、それでも全コメントの議論を終えることができなかったため、今後開催するバーチャルミーティングにて議論することとした。最終的には26件のコメント／提案について議論を行った。

今後の予定

- ・ ISO 4210-2 及び-3 で規定されている前泥よけの要求事項や試験方法について、各国に提案を求め、次回バーチャル方式で開催予定の WG13 国際会議にて内容を検討し、追補版を発行することを検討する。
- ・ ISO 8098 で規定されているチェーン／ベルト保護装置の要求事項について、各国に提案を求め、次回バーチャル方式で開催予定の WG13 国際会議にて内容を検討し、追補版を発行することを検討する。
- ・ これまで ISO 4210 との融合を検討していた EN 17406 について、ISO 4210 とは別の規格として開発する。ISO/TC 149/SC 1 総会にて NWIP（新業務項目提案）の内容について検討し、承認を得た後に NP 投票（新業務項目提案投票）を行う。
- ・ 今回の会議で時間切れとなり議論ができなかったコメントやスコープの議論については、次回バーチャル方式で開催予定の WG13 国際会議にて議論を行う。

3.2 ISO/TC 149/SC 1/WG 16 国際会議

ISO/TC 149/SC 1/WG 16 では 2025 年 8 月より ISO 11243:2023 (Cycles - Luggage carriers for bicycles - Requirements and test methods) の改訂を行っており、現在 WD 段階（作業原案段階）である。2023 年の改訂後わずか 2 年で再び改訂作業を開始することとなった理由は、ISO 4210 や ISO 8098 と同様に GPSR の整合規格化を目指していることが理由である。元々 ISO 11243:2023 については FDIS（最終国際規格案）投票の際に HAS コンサルタントから GPSD（General Product Safety Directive、一般製品安全指令）への不整合に関する多くのコメントが出ている状態であったため、2025 年 8 月以前も HAS コンサルタントのコメント対応を検討していた。なお、ISO 11243 についても、ウィーン協定下で規格の改訂が行われる。

今回の WG16 国際会議の議題は CD 段階に進む前に必要な事項を議論することであり、会議直前にコンビナーより回付された、FDIS 時の HAS コンサルタントからのコメントの内容をベースとした資料により、ISO 11243 の適用範囲や用語・定義、いくつかの技術的なコメントについて議論を行った。特に適用範囲について HAS コンサルタントから指摘を受けており、GPSR の整合規格化のためには適用範囲の変更が必要となる。特に「permanent attached」という表現が、ラゲッジキャリアがフレームにねじ止めされて通常取り外すことのない「permanent attached」と、ラゲッジキャリアが溶接などの方法でフレームと一体になっている「permanent attached」と混在している状態であるため、「permanent attached」の定義が必要ではないかという議論に多くの時間を割いた。なお、2011/786/EU（欧州議会及び理事会指令 2011/95/EC に基づく自転車、幼児用自転車及び自転車用荷物台に対する欧州規格が満たすべき安全要件に関する 2011 年 11 月 29 日付欧州委員会決定欧州経済領域（EEA）関連文書）で、“Luggage carrier for bicycles’ means a device or container, excluding trailers, which is mounted and permanently attached above and/or adjacent to the rear wheel (rear luggage carrier), or to the front wheel (front luggage carrier) of a bicycle and which is exclusively designed for carrying luggage or children seated in a child seat.”

と記載されていることから、ラゲッジキャリアや関連する用語の定義を、この内容を尊重する形にする必要があるとコンビナーより説明がなされた。

議論の結果、今回の会議での提案内容を以下にまとめる。

	ISO 11243:2023	提案内容
適用範囲	This document specifies safety and performance requirements for the design and testing of both non cycle specific luggage carriers intended for mounting (with or without tools) and cycle specific luggage carriers mounted on complete cycles. It applies to luggage carriers intended to be positioned above and adjacent to the wheels of cycles. This document lays down guidelines for instructions on the use and care of such luggage carriers.	This document specifies safety and performance requirements for the design and testing of permanently attached luggage carriers , both non cycle specific (with or without tools) and cycle specific luggage carriers mounted on complete cycles. It applies to luggage carriers intended to be positioned above and adjacent to the wheels of cycles. This document provides guidelines for instructions on the use and care of such luggage carriers.
	This document does not apply to removable luggage (for example, handlebar bags or baskets that are not permanently attached).	This document does not apply to removable luggage (for example, handlebar bags or baskets that are not permanently attached).
	Toy carrier intended to be mounted on bicycles for young children in the scope of ISO 8098 are not covered by this document.	Toy luggage carriers intended to be mounted on bicycles for young children in the scope of ISO 8098 are not covered by this document.
3.1	luggage carrier device, including containers such as baskets, that is mounted and permanently attached above and/or adjacent to the rear wheel(s) (in the case of a rear luggage carrier) or front wheel(s) (in the case of a front luggage carrier) of a cycle and that is designed for carrying luggage or children in child seats	luggage carrier device or container, excluding trailers, which is mounted and permanently attached above and/or adjacent to the rear wheel (rear luggage carrier), or to the front wheel (front luggage carrier) of a bicycle and which is exclusively designed for carrying luggage or children seated in a child seat.
3.10	permanently attached luggage carrier luggage carrier (3.1) which is permanently attached Note 1 to entry: For example, luggage carrier welded to the frame.	permanently attached fixed in place and not intended to be removed without causing significant damage to the item itself or the structure to which it is attached or including a separable connection that is designed to last for an indefinite or substantial period. Note 1 to entry: For example attached with welding or screw fastening not intended for removal during normal use.

このほか、ねじの最小破壊トルクや表示の耐久性についても HAS コンサルタントの指摘通りに変更することとなった。これらの内容は ISO 4210-2 にも関連する内容であるため、今後 WG13 にも提案されることになると想定される。

今後の予定

- ・今回の会議の議論をベースに ISO 11243 の適用範囲の変更案がコンビナーチームから提出され、その案の内容について各国からコメントを募集し、バーチャル方式で開催予定の次回 WG16 国際会議にて適用範囲を確定させる。
- ・適用範囲の変更について ISO/TC 149/SC 1 で CIB（委員会内投票）を行い、変更の承認を得る。
- ・適用範囲を変更した CD（委員会原案）を作成し、CD 投票を行う。

3.3 ISO/TC 149/SC 1/WG 18 国際会議

2025 年 7 月に新たに設置された ISO/TC 149/SC 1/WG 18 では ISO 8090:2019 (Cycles – Terminology) の改訂を行っており、現在 WD 段階（作業原案段階）である。改訂作業を進めることとなった理由は、5 年定期見直しにおいて、日本から日本語の用語の修正に関する多くのコメントを出したことが理由である。5 年定期見直し投票では「Confirm（確認・現状維持）」が過半数だったものの、改めて改訂の是非を問う CIB を行った結果、改訂が過半数となり、新たなワーキンググループである WG18 を設置した上で改訂を行うこととなった。WG18 のコンビナーも日本が担当することとなった。

今回の WG18 国際会議の議題は会議前に出されたコメントについての議論である。コメントは日本から 193 件のコメントが出され、そのうち 169 件が日本語の修正であった。日本語の修正については各国のコンセンサスが不要のためすべて”Accepted（承認）”とした。

今後の予定

- ・今回の会議の議論により追加することとなった 25 部品の名称について各国調査を行う。
- ・調査後、CD（委員会原案）を作成し、CD 投票を行う。
- ・CD 投票時のコメントの量に応じて、次回 ISO/TC 149 国際会議と併催する WG18 国際会議でコメントの議論を行うか、それ以前にバーチャル方式で国際会議を開催するか判断する。

3.4 ISO/TC 149/SC 1 総会

ISO/TC 149/SC 1 総会については、毎年開催しており、1 年間の各 WG の動向やリエゾン報告、リエゾン及びリエゾン代表の見直し、ISO/TC 149/SC 1 傘下で開発や改訂を行っている規格の動向、今後の予定などを議論した。

今回の総会では、要望のあったリエゾン代表の交代や、リエゾン代表の解任、EN 17406 の ISO 化を WG13 内で行うための WG13 のタイトル変更と NWIP 開始について、2026 年の開催地（米国・シカゴ）について審議を行い、すべて満場一致で決議された。

3.5 ISO/TC 149 総会

ISO/TC 149/SC 1 総会についても、ISO/TC 149/SC 1 総会の直後に毎年開催しており、1 年間の ISO/TC 149/SC 1 の活動報告やリエゾン報告、リエゾン及びリエゾン代表の見直し、ISO/TC 149 直下で管理を行っている規格の確認、ISO/TC 149 の適用範囲、今後の予定などを議論した。今回の総会では、ISO/TC 149 が管理する ISO 規格のうち、近年、5 年定期見直し投票を行った 6 規格（ISO 6692、ISO 6696、ISO 6697、ISO 6698、ISO 6701、ISO 10230）について、「Confirm（確認、現状維持）」とする審議や、ISO/TC 149 議長の任期 3 年延長について審議を行い、すべて満場一致で決議された。

4. ソーシャルイベント

今回の ISO/TC 149 国際会議において、10 月 16 日の午後よりソーシャルイベント（Japan Bike Show 2025 の見学、屋形船ディナーレセプション）を開催し、各国代表団に対して日本の自転車産業の最新動向の紹介や、国際親善および業界関係者間の親睦を深めた。

5. 今回の国際会議開催における成果の波及効果

- ・自転車関連の国際標準化活動における日本のプレゼンス向上を果たした。（別添 1 会議フィードバック参照）
- ・国内自転車製造業者から多くのエキスパートが国際会議に参加したことで、国際標準化活動への理解や、標準化人材の育成に必要な実践的なノウハウを提供できた。



会議室



国際会議参加者集合写真



ソーシャルイベント



ISO/TC 149/SC 1 総会

この会議は競輪の補助を受けています



別添 1 会議フィードバック

ISO/TC 149/SC 1/WG 18 国際会議



MEETING FEEDBACK REPORT

Meeting **1st meeting of ISO/TC 149/SC 1/WG 18**

Place and date **Japan (Koto City)
14 Oct 2025 13:00 - 16:00 JST**

The following comments have been received about the above mentioned meeting:

Participant 1 - Feedback on the organization of the meeting
Great meeting
Participant 1 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
Great meeting
Participant 1 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No answer since CS is not participating.
Participant 2 - Feedback on the organization of the meeting
I would like to thank the organizers for their excellent organization. The network connectivity at this conference is excellent.
Participant 2 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
I sincerely appreciate all your efforts for the working group.
Participant 2 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No
Participant 3 - Feedback on the organization of the meeting
Great organization and welcome
Participant 3 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
congratulations, not an easy matter to manage
Participant 3 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
thanks for the support, was well done



MEETING FEEDBACK REPORT

Meeting **30th meeting of ISO/TC 149/SC 1/WG 13**

Place and date **Japan (Koto City)**
15 Oct 2025 09:00 - 16:00 JST

The following comments have been received about the above mentioned meeting:

Participant 1 - Feedback on the organization of the meeting
I would like to thank the organizers for their excellent organization. The network connectivity at this conference is excellent.
Participant 1 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
I sincerely appreciate all your efforts for the working group.
Participant 1 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No.
Participant 2 - Feedback on the organization of the meeting
Great meeting
Participant 2 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
Great meeting
Participant 2 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No answer since CS is not participating.
Participant 3 - Feedback on the organization of the meeting
Good meeting; well prepared by convenors and experts, constructive and fruitful discussion. Good progress has been made. Location, catering and facilities were excellent
Participant 3 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
Good proposals, well prepared
Participant 3 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
na
Participant 4 - Feedback on the organization of the meeting
Perfect organization



MEETING FEEDBACK REPORT

Meeting **19th meeting of ISO/TC 149/SC 1/WG 16**

Place and date **Japan (Koto City)
16 Oct 2025 09:00 - 12:00 JST**

The following comments have been received about the above mentioned meeting:

Participant 1 - Feedback on the organization of the meeting
I would like to thank the organizers for their excellent organization. The network connectivity at this conference is excellent.
Participant 1 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
I sincerely appreciate all your efforts for the working group.
Participant 1 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No.
Participant 2 - Feedback on the organization of the meeting
Great meeting
Participant 2 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
Great meeting
Participant 2 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No answer since CS is not participating.



MEETING FEEDBACK REPORT

Meeting **47th meeting of ISO/TC 149/SC 1**

Place and date **Japan (Koto City)
17 Oct 2025**

The following comments have been received about the above mentioned meeting:

Participant 1 - Feedback on the organization of the meeting
no
Participant 1 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
no
Participant 1 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
no
Participant 2 - Feedback on the organization of the meeting
Well organized meeting.
Participant 2 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
Well organized meeting.
Participant 2 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No.
Participant 3 - Feedback on the organization of the meeting
I would like to thank the organizers for their excellent organization. The network connectivity at this conference is excellent.
Participant 3 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
I sincerely appreciate all your contributions to SC1.
Participant 3 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No.
Participant 4 - Feedback on the organization of the meeting
The meeting was smooth and excellent.
Participant 4 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
No specific points raised. It was a good and productive meeting.
Participant 4 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No specific comments on support.
Participant 5 - Feedback on the organization of the meeting
Great meeting
Participant 5 - Feedback on the performance of the Committee Manager and Chair
Great meeting
Participant 5 - Feedback on the support provided by ISOCS during the meeting (if present)
No answer since CS is not participating.